

社会資本総合整備計画書

神奈川県小田原市

令和 5 年 12 月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年12月06日

計画の名称	小田原市における事前復興計画の策定（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小田原市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の防災に関しては、神縄・国府津－松田断層地帯による地震及び津波、酒匂川等の河川氾濫による水害など、あらゆる災害に備える必要がある。 ・一方で、東日本大震災等の大規模災害時における復興まちづくりの課題・教訓としては、計画策定等に必要基礎データの未整備、大規模災害時の復興まちづくりに対応できる人材の不足、復興体制の早期整備等が挙げられており、本市においても神奈川県西部地震や東海地震等の大規模災害時には同様の課題を抱えている。 ・そこで、平時から災害が発生した際のことを想定し、被災後に迅速な復旧・復興を図るための事前準備として、事前復興計画の策定に取り組む。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	40	A	40	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初		R10末
1	市域全域のまちの基礎データと被害想定を重ね合わせ、まちの課題を集約する。その上で、面的整備の必要がある箇所のみ復興に係る整備方針を事前復興計画に記載する。 事前復興計画の市域カバー率（市域面積11,360ha） 0ha / 11,360ha 11,360ha / 11,360ha	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

事前評価チェックシート

計画の名称： 小田原市における事前復興計画の策定（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性が確保されている	○
III. 計画の実現可能性 基幹事業の必要性が整理されている	○
III. 計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地元との合意形成が見込まれる	○